

宮崎アカデミーロータリークラブ会報

第 155 回例会 2025 年 6 月 10 日

■例会場：宮崎大学 地域デザイン棟

会長 伊達 紫 副会長 水居 徹 幹事 辻 清

■ 会長の時間

伊達 紫 会長



会長挨拶

皆さん、こんにちは。
通常例会での会長挨拶も最終回となりました。月並みですが、あっという間の 1 年でした。

今日こそは、まず、GW に読んだ本の話をして。積読状態の本を 3 冊読みました。一冊目は風良ゆりの「滅びの前のシャングリラ」、二冊目はダニエル・キイスの「アルジャーノンに花束を」、そして三冊目は辻 仁成のエッセイ集「犬と生きる」です。本を読む楽しみは、知らなかった世界を知れること、そして、これまで自分のよくわからない感覚を言葉にしてくれた時の「そう、そう、それ」といった喜びでしょう。速読は苦手なので、牛歩のごとく読み進めるのですが、最後はがつくようにスパートがかかります。この三冊の中で、辻 仁成の「犬と生きる」からの「「そう、そう、それ」」を紹介します。

(「犬と生きる」の一節を紹介)

これは、ひとえに私がもう 9 年間も犬と二人暮らしで、まさに犬と生きているからだと思いますが、たのしい一冊でした。ちなみに、現時点でのお勧めの本ベストテンを挙げるとすると、(順不同で)①博士の愛した数式、②ことり(いづれも小川洋子)、③クララとおひさま(カズオ・イシグロ)、④漁村の肉子ちゃん、⑤窓の魚(いづれも西 加奈子)、⑥パリの空の下で息子とぼくの 3000 日(辻 仁成)⑦ニシユキヒコの恋と冒険(川上弘美)、⑧ヘブン(川上美映子)、⑨坂の上の雲(司馬遼太郎)、⑩うたかた / サンクチュアリ(吉本ばなな)などです。

さて、最後になりますが、この 1 年、皆さまには本当にお世話になりました。1 年をざっと振り返ると、クラブ奉仕委員会においては、毎回の例会運営や週報のアップ、zoom の準備・運営、そして予定されていた職場訪問は叶いませんでしたが、次の夜間例会は「宮崎空港ビル」とのことですので、空港ビルの持つ新たなポテンシャルを体験するよい機会になると思っています。出席向上・会員増強委員会におかれましては、とても厳しい 1 年だったと思いますが、AI を使った議事録作成など今後につながる取組みをしていただきました。職業奉仕・青少年奉仕委員会では、地区補助金の申請をしていただき、次年度予算がおりますので、申請どおり「障がい者アート」の支援の取組みがなされることになります。国際奉仕・青少年奉仕委員会では留学生や海外から赴任している教員などの卓話などのアイデアを出し次年度に向けて準備中です。アカデミーロータリークラブならではの異文化に触れる機会が増えることを楽しみにしております。最後に DEI 推進委員会では、パープルリボンキャンペーンや先日の学生とコラボした DEI 研

修を企画していただき、良い成果を挙げたと思っています。また、水居副会長によりはじめられた炉辺アカデミーも好評を得た取組のひとつだと思います。こうやって見ると、アカデミーらしさも随所に見られ、結構よくやったのではないかなーと思っております。

来月から始まる梅田年度の「楽しい例会」を今から心待ちにしております。

1 年間本当にありがとうございました。

■ 幹事報告

辻 清 幹事



- ① ロータリーレートについて
6 月 1 ドル：144 円
- ② 2025. 4.22 第 152 回例会での米山奨学とロータリー財団募金報告について
米山奨学 1,435 円
ロータリー財団 1,222 円

③ 第 12 回理事会(5/27)報告

○退会者について

水光会員が健康的理由、成合会員が一身上の理由により退会届が提出され、承認されました。

6/30 日付け退会となります。

○ポリオ寄付について

宮崎アカデミー RC はゼロポリオが続いておりました。今年度も予算計上されておりませんでした。クラブより 10,000 円寄付することで承認されました。

尚、次年度より会員 1 名当たり 500 円の支出予算を計上することで承認されました。以上

■ 出席報告

出席向上・会員増強選考委員会

辻 清 委員長



会員数 33 名
出席者数 16 名
欠席者数 17 名
出席率 51.52%

第 153 回例会修正
会員数 33 名
出席者 15 名
メイクアップ 0 名
修正出席者数 15 名
修正出席率 45.45%

■ 委員会報告

梅田 裕樹 会長エレクト



第2回活性化セミナーへの参加報告



DEI 推進 クラブ機能強化委員会
富山 幸子 副委員長

6月23日～29日は、
「男女共同参画週間」です。

宮崎県男女共同参画センターでは、各種イベント・講座を開催します。

お勧めを3件紹介します。

1. ナイトシアター「ビリーブ」
日時：6月27日（金）17:50～
会場：宮崎県企業局1階 県電ホール
2. 萩原なつ子講演会「人生 100 年時代の暮らし方」
～キーワードはジェンダー平等～
日時：7月12日（土）13:00～15:30
会場：宮崎県企業局1階 県電ホール
3. リーガル講座「憲法」
はて？がきりひらくあなたの未来
講師 成見暁子さん（弁護士）
【宮崎会場】
日時：6月28日（土）10:00～
会場：宮崎県企業局1階 県電ホール

【都城会場】
日時：7月5日（土）14:00～
会場：未来創造ステーション（都城市図書館2階）

男女共同参画は DEI の試金石と言われます。
この機会に、男女共同参画についてより理解を深めていただきたいと思います。
御参加についてのご検討、よろしくお願いします。

■ お誕生日お祝い



6月お誕生日を迎える皆さんです。
おめでとうございます!!

金岡 保之 会員 安田 文彦 会員
辻 清 会員 伊達 紫 会員
久保 昌広 会員

■ 卓話1

本田 利弘 会員

脚気を撲滅した宮崎の偉人 高木 兼寛



「ビタミンの父」しのぶ 高木兼寛顕彰会 都内で墓参り
脚気（かつけ）の撲滅に力を注ぎ「ビタミンの父」として知られる、1日高岡町穆佐出身の医師・高木兼寛（1849～1920年）をしのぶ会が12日、東京都港区の青山霊園であった。首都圏在住の同町を中心とする宮崎市出身者や、清山知恵市長ほか同町在住者ら約70人が高木家の墓参りをして偉業に思いをはせた。



交流のあった伊藤博文に明治天皇への謁見（えっけん）を強く要請した。脚気は日本海軍には多く、海外の軍隊に脚気患者はいないという情報を元に、食事を改善する事を明治天皇に直訴した。



バザーと寄付で約5億7千万円を集める事に成功した。
その資金で日本初の「看護学校」を設立。



須く、一歩進む(すべからく、いっぽすすむ)

江戸から明治へ、日本の大転換期。

文明開化、富国強兵を推し進める中、数々の大きな壁が立ち
はだかる。

江戸時代から続く不治の病、日本だけにある病、“江戸煩い”
と呼ばれた、“脚気”も、その一つである。

この病に、果敢に挑んだ男が居た。

英国で5年学び、優秀な成績を収めた、高木兼寛である。地道
な調査、根気強い交渉、大規模な実験により、解決の糸口を見
つけたのだったが・・・最初の医学論争を追う。



宮崎大学監事の久保と申します。卓話の機会をいただき、
感謝申し上げます。

本日は、国立大学法人監事の仕事の紹介と、これまで私が
宮崎大学と一緒に取り組んだ事例などを話してまい
りたいと思います。

国立大学法人の監事は、法律に基づき、法人の業務が適正
に行われているかを監査するために設置された職で、法人の
組織体としての健全性を確保することや、大学の使命である
教育研究等の活性化を支援し、大学の質の維持・向上に寄与
することを目的に監査を行っています。

その際には、コンプライアンスは遵守できてるか、中期目
標・中期計画達成に向け効率的かつ効果的な法人経営が行
われているか、教育・研究・社会貢献の状況はどうなってい
るか、多様なステークホルダーの期待に十分応えられている
かなどの視点で日々監査を行っているところです。

今後の大学運営では、ステークホルダーとの関係が特に重
要になると考えていますが、これまで、私が、前職の県庁職員
時代に、宮崎大学と取り組んできた事例では、いずれもス
テークホルダーの期待～県民の期待～に、宮崎大学は十分応
えていただきました。

具体的には、平成20年4月に県立芸術劇場に本県で初め
て導入されたネーミングライツ、平成25年10月に公表さ
れた本県の南海トラフ巨大地震被害想定をはじめ、地域医療
の確保や新型コロナ対応など、それぞれ関係する学部や教職
員の皆さんの学識や経験を遺憾なく発揮していただき一定
の成果を残せました。

また、全国和牛能力共進会で、前人未踏の4大会連続で内
閣総理大臣賞を受賞した宮崎牛に代表される本県の基幹産
業の畜産業で重要な役割を担う獣医師の育成・確保の取組
が、大学と県とで始まったばかりですので、今後は、監事の立
場としてチェックしていきたいと考えています。

今後も監査業務を通じて、宮崎大学に少しでも貢献できれ
ばと思います。